

## 埼玉県内設備投資動向調査

### 設備投資の「計画有り」とする県内企業は3年連続で増加

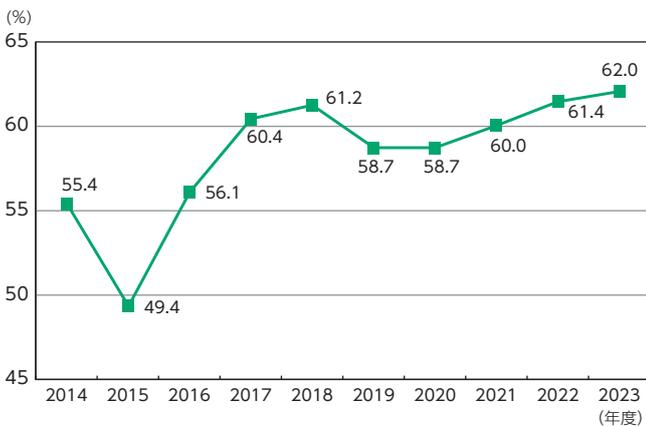
#### ✓ 設備投資計画の有無

2023年度に設備投資の「計画有り」とした企業は、回答企業 274社のうち 170社で62.0%、前年調査比+0.6ポイントとなった。3年連続で増加し、県内企業の設備投資意欲は持ち直しの動きが続いている。

業種別にみると、「計画有り」とした企業は、製造業76.1%（前年比+1.6ポイント）、非製造業54.9%（同+0.7ポイント）となり、製造業、非製造業ともに前年を上回った。

規模別にみると、「計画有り」とした企業は大企業83.3%（前年比▲3.1ポイント）、中小企業60.0%（同+0.8ポイント）となった。前年調査で大幅に増加した大企業は減少となり、中小企業は4年連続で増加となった。

#### ● 設備投資「計画有り」の企業割合の推移



※毎年1月調査の計数

#### ✓ 設備投資計画額

2023年度の設備投資計画額は、当該企業の2022年度実績見込みに対して+11.5%となった。設備投資の「計画有り」とする企業割合が前年より増加するなか、「設備投資計画額」においても増加となり、県内企業の2023年度の設備投資は持ち直しの動きが続くとみられる。

業種別にみると、製造業は前年度実績見込比+34.7%、非製造業は同+6.0%となり、両業種ともに増加したが、特に製造業で増加幅が大きかった。

規模別にみると、大企業は前年度実績見込比▲4.1%と減少し、中小企業は同+23.4%と増加した。

#### ● 設備投資計画額

(単位:社、百万円、%)

	回答企業数	2022年度実績見込み	2023年度計画	
			計画	前年度比
全産業	218	44,468	49,565	11.5
製造業	74	8,413	11,330	34.7
非製造業	144	36,055	38,235	6.0
大企業	17	19,270	18,478	▲ 4.1
中小企業	201	25,198	31,087	23.4

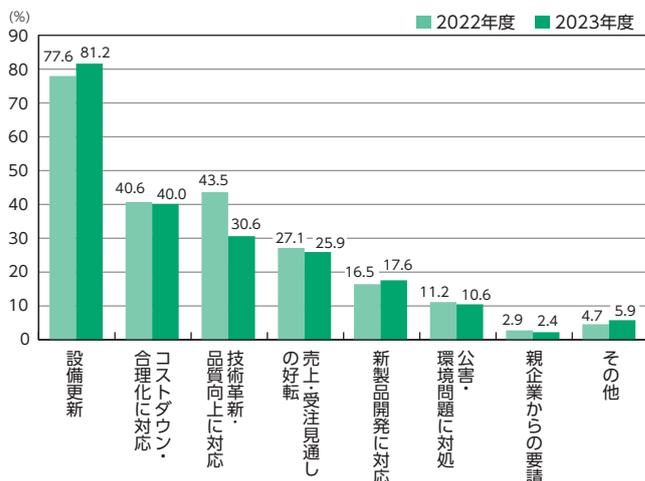
#### ✓ 設備投資理由

設備投資を行う理由は（複数回答）、「設備更新」（81.2%）が最も多く、以下順に「コストダウン・合理化に対応」（40.0%）、「技術革新・品質向上に対応」（30.6%）、「売上・受注見通しの好転」（25.9%）、「新製品開発に対応」（17.6%）と続いた。

前年調査と比べ「設備更新」が前年比+3.6ポイントと増加し、「技術革新・品質向上に対応」が同▲12.9ポイントと減少した。それ以外の項目では前年から大きな変化は無かった。

業種別にみると、製造業は「設備更新」（78.6%）、「コストダウン・合理化に対応」（50.0%）、「技術革新・品質向上に対応」（42.9%）の順に多く、非製造業は

#### ● 設備投資理由



「設備更新」(83.0%)、「コストダウン・合理化に対応」(33.0%)、「売上・受注見通しの好転」(27.0%)の順に多かった。

前年に比べ製造業は「設備更新」が前年比+6.0ポイントと増加する一方、「技術革新・品質向上に対応」は同▲16.0ポイントと減少した。非製造業は増加が目立つものは無く、製造業同様「技術革新・品質向上に対応」が同▲10.0ポイントと減少した。

### ☑ 設備投資対象物件

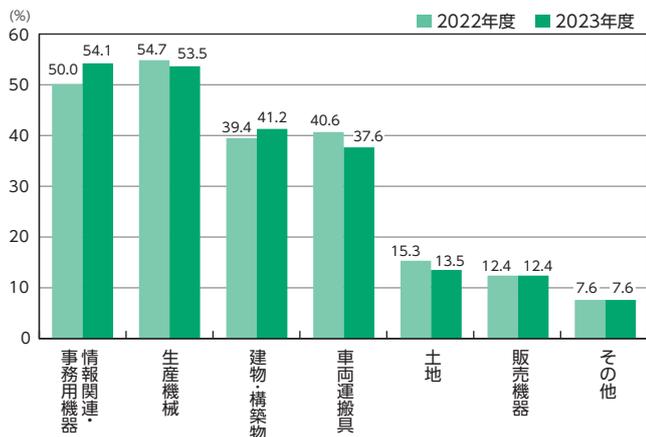
設備投資の対象物件は(複数回答)多い順に、「情報関連・事務用機器」(54.1%)、「生産機械」(53.5%)、「建物・構築物」(41.2%)、「車両運搬具」(37.6%)、「土地」(13.5%)、「販売機器」(12.4%)となった。

「情報関連・事務用機器」が最多となったのは2010年以来13年ぶりで、DXやICTへの取り組みなど情報化投資に積極的なところが増えているためとみられる。

前年と比べ「情報関連・事務用機器」(前年比+4.1ポイント)、「建物・構築物」(同+1.8ポイント)が増加し、前年調査で大幅増となった「車両運搬具」(同▲3.0ポイント)のほか、土地(同▲1.8ポイント)、生産機械(同▲1.2ポイント)が減少した。

業種別では、製造業は「生産機械」(88.6%)が最も

### ● 設備投資対象物件



多く、次いで「情報関連・事務用機器」(50.0%)、非製造業は「情報関連・事務用機器」(57.0%)が最も多く、次いで「車両運搬具」(49.0%)となった。

前年と比べ製造業は「情報関連・事務用機器」(前年比+4.8ポイント)が増加し、非製造業は「建物・構築物」(同+4.7ポイント)、「販売機器」(同+4.5ポイント)、「情報関連・事務用機器」(同+3.4ポイント)が増加した。

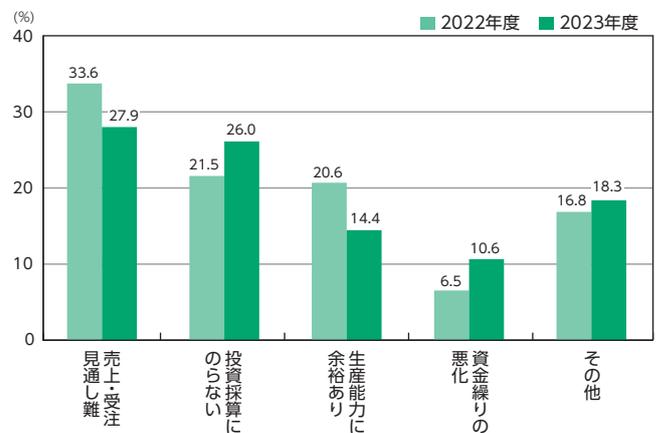
### ☑ 設備投資を行わない理由

2023年度に設備投資を「計画していない」企業においてその理由は(複数回答)、「売上・受注見通し難」(27.9%)が最も多く、以下「投資採算にのらない」(26.0%)、「生産能力に余裕あり」(14.4%)、「資金繰りの悪化」(10.6%)の順となった。

前年と比べ「投資採算にのらない」(前年比+4.5ポイント)、「資金繰りの悪化」(同+4.1ポイント)が増加し、「生産能力に余裕あり」(同▲6.2ポイント)、「売上・受注見通し難」(同▲5.7ポイント)が減少した。生産能力の余剰感や、先行きの需要減への不安を理由に設備投資を見送る企業は、景気が持ち直す中で減少したとみられる。

(辻 和)

### ● 設備投資を行わない理由



2023年1月実施。対象企業数1,008社、回答企業数274社、回答率27.2%。